

# 食育の推進と農業体験の重要性

## ～ 学びを深める問題解決学習 ～

平成19年6月27日 食育フォーラム

上智大学

奈須正裕

# 今、食育の課題は深まり・高まり

- ❁ 広がりを得ようとする中で、活動や学びの質が置き去りになりやすい…  
「総合的な学習の時間」での教育界の教訓
- ❁ 食育の推進の中では何としても気を付けたい
- ❁ 「とりあえず」「まずは」「そのうち」が、  
いつもでもそのままに…
- ❁ 数字だけを目安にするのは危険？



# 食育における3つのアプローチ

- ❁ 知識の教授・体験の提供
- ❁ しつけによる行動調整
- ❁ 問題解決学習



# 知識の教授・体験の提供

- ❁ 知識や体験は必要！

- ❁ しかし・・・

それだけでは生活実践にまでは届かない

cf. 議会制民主主義はよく知っている

(テストでは正解する)が、

投票率はいよいよ低下している

現に子どもたちの食生活が変わる食育を！



# しつけによる行動調整

- ❁ 賞罰や習慣づけで行動を調整：効果絶大！
- ❁ しかし…

学校と家庭・社会との乖離 二重化の危険

想定外の事態には応用が効かない

唯一絶対の「正しい食生活」という虚構

社会や時代の変化に耐えうる食育を！



# 問題解決学習

- ❁ 知識教授としつけに共通するのは、  
主体による思考の欠如！！
- ❁ 自分から発した切実な活動の中で骨身に染  
みて思い知らない人は本当には変わらない
- ❁ ならば、問題解決学習！！

奈須正裕・藤本勇二「学びを深める食育ハンドブック」  
(学習研究社 2007)参照



子どもの求め  
「自分たちの手でお米を作って  
世界のお米料理に挑戦したい」

解決すべき切実な問題  
「田んぼはどうする？」「田植えの準備は？」  
「農薬は？」「肥料は？」「水の管理は？」

自分事としての学び  
「食べ物があるのはただごとではない」  
「自然と共生する素晴らしい知恵があるぞ」  
「日本の農業は厳しい状況にあるなあ」

# 問題解決学習の3原則

- ❁ 問題は子どもが解決する
- ❁ 「本物」を目指す
- ❁ 意図性・指導性の適切な発揮



# 問題は子どもが解決する

- ❁ 活動が順調に進むと、人は学ばない
- ❁ 出会うべき困難や失敗こそ、学びの契機
- ❁ 意図的にハードルを引き上げるのも支援



# 「本物」を目指す

- ❁ 「本物」を目指すから、学びも「本物」になる
- ❁ 大人の「上に行く」発想が子どもを本気にする



# 意図性・指導性の適切な発揮

- ❁ 子ども中心の教育は放任や迎合ではない
- ❁ 教科学習との合科的・関連的な指導で食育も教科の学力も共に高まる
- ❁ その人だからこそ学べる内容を構想する
- ❁ 不足の原理



# m e m o

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

